

5

— 平成 23 年度 —

東濃西部広域行政事務組合
一般会計、特別会計歳入歳出
決算審査意見書

東濃西部広域行政事務組合監査委員

東 広 監 第 1 号
平成24年 7月 9日

東濃西部広域行政事務組合
管理者 多治見市長 古川 雅典 様

東濃西部広域行政事務組合

監査委員

尾関 卓一

監査委員

金津 正彦

平成23年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計
歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第233条
第2項の規定により審査に付された平成23年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、
特別会計歳入歳出決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出します。

1 審査の期日 平成 24 年 6 月 29 日

2 審査の対象

- (1) 平成 23 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成 23 年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成 23 年度東濃看護専門学校事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成 23 年度東濃西部少年センター事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成 23 年度東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成 23 年度東濃西部広域行政事務組合各基金運用状況

3 審査の結果

審査に付された決算書に基づき、歳入歳出関係諸帳簿並びに証拠書類を照合した結果、決算計数は符合して誤りのないことを確認した。

4 決算の概要

平成 23 年度における当組合の 5 会計の決算総額は、歳入 350,740,352 円、歳出 345,331,730 円で、歳入歳出差引額は 5,408,622 円で、主なものとして、一般会計で 1,765,726 円、看護学校特別会計で 2,580,855 円となっている。

主な歳入財源である各市負担金については、総合計が 204,816,000 円で、全体の 58.4% を占めており、圏域住民一人あたり 941 円の負担となっている。

(1) 一般会計

◎ 歳入について

第 1 款 分担金及び負担金

一般経費負担金として 28,020,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。

(単位：円)

市名	多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
金額	11,543,000	7,691,000	8,786,000	28,020,000

第 2 款 使用料及び手数料

畜犬登録手数料、注射済票交付手数料及び再交付手数料として、9,647,190 円が収入となっている。

第 4 款 繰越金

前年度繰越金として、2,061,453 円が収入となっている。

第 5 款 諸収入

雑入で嘱託職員の雇用保険個人負担分 28,178 円となっている。

◎ 歳出について

第 1 款 議会費

当年度組合議会は定例会 2 回が開催されている。支出済額 127,603 円のうち主な支出は議員報酬の 116,000 円であった。

第 2 款 総務費

総務費は予算現額 28,965,000 円に対し、支出済額が 28,234,952 円となっている。

主な支出は一般管理費で職員等の人件費 25,743,448 円となっている。

第3款 衛生費

衛生費は予算現額 9,633,000 円に対し、支出済額が 9,628,540 円となっている。
主な支出は 3 市への畜犬登録事務交付金が 5,510,498 円、嘱託職員の人件費が 2,728,852 円である。

(2) ふるさと活性化基金特別会計

◎ 歳入について

第3款 財産収入

ふるさと活性化基金の運用利息として、19,628,029 円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として 654,720 円が収入となっている。

第6款 繰入金

基金繰入金として 7,928,000 円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は 20,457,576 円となっており、主な支出は、地域振興事業補助金 17,500,000 円、広域自主研修事業委託料として 1,862,622 円となっている。

平成 23 年度の補助対象事業及び補助金額は次のとおりである。

事業名	補助金額(千円)
国際陶磁器フェスティバル美濃'11	13,500
社会福祉法人陶技学園創立50周年記念事業	1,000
多治見市(まちづくり活動補助事業の7対象事業に対して補助)	1,500
瑞浪市(特別展開催事業「郷土の人間国宝 加藤孝造展」の展示会および講演会に対して補助)	600
土岐市(まちづくり支援事業の6対象事業に対して補助)	900

また、平成 23 年度広域自主研修の実施結果は次のとおりである。

研修内容	対象	受講者数
キャリアデザイン研修	一般職員	24名
法制執務研修	一般職員	25名
コーチング研修	一般職員	23名
技能労務職員研修	一般職員	22名
政策法務研修	一般職員	22名
タイムマネジメント研修	一般職員	23名

第2款 商工費

歳出総額は 7,641,260 円となっており、主な支出は、観光パンフレット作成とし

て2,364,600円、東濃西部地域観光宣伝番組制作料として3,675,000円となっている。

(3) 東濃看護専門学校事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として62,350,000円、施設費負担金として26,303,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

区 分	運営費負担金	施設費負担金	計
多治見市	17,207,000	11,205,000	28,412,000
瑞浪市	5,239,000	4,274,000	9,513,000
土岐市	39,904,000	10,824,000	50,728,000
合 計	62,350,000	26,303,000	88,653,000

第2款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は31,859,000円で、主な内訳は授業料26,940,000円、入学金4,000,000円、入学試験料580,000円となっている。

第3款 財産収入

看護専門学校財政調整基金の運用利息として28,000円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として1,000,000円が収入となっている。

第5款 諸収入

諸収入は9,886,236円で主な内訳は、教材実習費4,047,000円、施設整備協力金5,350,000円となっている。

第6款 繰入金

財政調整基金繰入金として1,532,790円の収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は104,075,757円となっており、主な支出は職員等の人件費85,470,653円、消耗品、光熱水費、修繕料などによる需用費6,320,946円、施設清掃、空調設備点検等の委託料5,078,088円、公用車、パソコンの購入などによる備品購入費1,615,530円、その他学校運営に係る費用となっている。

第2款 公債費

公債費として元金23,445,820円、利子2,856,594円を支出した。

公債費の支出及び平成23年度末未償還元金は次のとおりである。(単位：円)

区 分	支 出 内 訳		借入年月日	23年度末未償還元金
	元 金	利 子		
普通債	1,154,245	91,275	H5.5.7	1,205,591
〃	22,291,575	2,765,319	H6.5.6	47,531,784
計	23,445,820	2,856,594		48,737,375

(4) 少年センター事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

運営費負担金として13,143,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位:円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
6,965,000	2,447,000	3,731,000	13,143,000

第3款 繰越金

前年度繰越金として、572,256円が収入となっている。

第4款 諸収入

嘱託職員雇用保険の自己負担分として22,900円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 教育費

歳出総額は12,788,028円で、主な支出は嘱託職員等の人件費7,632,247円、指導員巡回旅費2,228,440円である。

年度別の指導状況及び少年相談件数は次のとおりである。

	平成23年度	平成22年度	比較
指導延回数 (回)	450	500	△50
指導員延人員 (人)	1,647	1,952	△305
指導件数 (件)	158	115	+43
電話相談 (件)	37 (49)	43	△6
面接相談 (件)	8 (22)	0	+8
メール相談 (件)	11 (43)	21	△10

※ 〈 〉内は延べ件数を表す。

(5) 東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

組合負担金として75,000,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位:円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	中津川市	恵那市	合計
5,080,000	10,080,000	15,080,000	34,680,000	10,080,000	75,000,000

第3款 繰入金

基金繰入金として61,000,000円の収入となっている。

第4款 財産収入

東濃地域医師確保奨学基金の運用利息として、75,600円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は136,075,600円で、主な支出は平成20年度7名分の貸付金25,200,000円、平成21年度5名分の貸付金12,000,000円、平成22年度6名分の貸付金

14,400,000円、平成23年度3名分の貸付金9,000,000円、東濃地域医師確保奨学基金積立金75,075,600円となっている。

(6) 各基金運用状況

①東濃看護専門学校財政調整基金

本基金は東濃看護専門学校施設の整備改善、災害若しくは事故により生じた経費の財源又はやむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるために設置されたものである。

平成22年度末基金残高20,869,416円に平成22年度決算剰余金の内1,448,257円と平成23年度の基金運用収入28,000円を積み立て、公用車等購入費用1,532,790円を取り崩した。平成23年度末残高は20,812,883円である。

②ふるさと活性化基金

本基金は東濃西部地域の振興整備の事業に資するため設置されたものである。

平成23年度の基金運用収入19,628,029円に国際陶磁器フェスティバルへの助成金等のために基金から取り崩した7,928,000円を加え、各種事業費に充てたのち、不用額278,000円を基金に積み立てた。平成23年度末残高は1,010,418,000円である。

③東濃地域医師確保奨学基金

本基金は東濃地域医師確保奨学資金等の貸付のための経費に充てるために、設置されたものである。

各市からの負担金75,000,000円及び基金運用収入75,600円を積み立て、平成23年度貸付額60,600,000円及び事務費400,000円を取り崩した。平成23年度末残高は89,555,133円である。

5 指摘事項

要望事項は次のとおりであるので、今後はこれらの事項に留意し、事務に取り組んでいただきたい。

①看護専門学校

現状は、圏域外の学生の割合が多く、地域の医療に役立っていないということから、広域組合が管理・運営していくことに対して疑問を抱かざるを得ない状況である。

今後、修学資金貸付制度を設けるなど圏域内就職を増加させる取り組みを行っていくようだが、公的資金が投入されていることの合理性が担保されるような運営をしていただきたい。

②少年センター

警察ボランティアや地域安全指導員など様々な制度があるが、それらを統括するのが少年センターの役割ではないか。

活動内容については、街頭指導や啓発活動よりも相談活動にもっと力を入れていただきたい。

③ふるさと活性化基金

現在のような少額な補助金を各市に交付するだけでは効果も薄いのではないか。

広域組合が主導権を握って、各市に対して指導する立場で事業展開をしていっても良いのではないか。圏域外への広報活動を行うなど、広域で有効な使用方法を検討していただきたい。

④医師確保奨学資金等貸付事業

東濃地域の医師はまだ不足しているので、引き続きこの事業を実施・充実させていただきたい。

⑤その他（全般）

畜犬の予防接種率が低下しているので、地域の獣医師と連携を取るなど予防接種率を上げる対策を講じていただきたい。